

危機管理産業展2010 特別併催企画

# テロ対策特殊装備展'10

# SEECAT

Special Equipment Exhibition & Conference for Anti-Terrorism

2010年9月17日

ニュース資料



テロ対策を、創造する。

*Now, Confronting Terrorism.*

SEECAT 事務局

## はじめに

株式会社東京ビッグサイトでは、来る2010年10月6日（水）から8日（金）の3日間、東京ビッグサイト（東京国際展示場・江東区有明）におきまして、国内唯一、テロ対策機器・情報を集めた専門展「テロ対策特殊装備展（SEECAT）'10」を開催いたします。

本展SEECATは、「危機管理産業展（RISCON TOKYO）2010」の特別併催企画として、今年で4回目の開催となります。初回開催の高評価から昨年は83社・団体が集結し、またマスコミ等にも大きく取り上げられたことで、治安関係者を中心に14,767名の方にご来場いただきました。国内唯一のテロ対策専門展という認知度の高まりが、出展者・来場者双方に効果があったと自負しております。本年も引き続き、来場者を治安関係者等に限定したクローズドショーとして開催することで、出展各社はプロフェッショナル向けのハイスペックな資機材の展示が可能となり、また来場者は一堂に会した最新の機器を精査できるようになります。

本年も新たに多くの企業が出展参加することで、昨年以上に多種多様な製品・技術・サービスが国内外から集まりました。訴求するターゲットを絞りRISCONから転向した企業や、シンガポールやデンマークなどの海外から新規の出展が増えるなど、合計95社・団体が集結します。空港での導入が検討されているボディスキナーをはじめ、文部科学省のプロジェクト関連企業・大学の成果発表など、多くの新製品が出展されます。また今回は、SEECATの会場警備に初めて爆発物検知犬を導入し、その有効性・必要性を各方面へ発信していきます。

なお、本年も特別顧問に元内閣官房内閣安全保障室長の佐々淳行氏を、また技術顧問には帝京大学教授で東京都参与の志方俊之氏を迎え、専門家のアドバイスに基づいた、テロ対策の緊急性・重要性を発信いたします。

つきましては、何卒貴紙誌の記事としてお取り扱いいただき、関係各方面への告知にご協力賜りたくお願い申し上げます。

なお、記事としてお取り扱いいただきました際には、誠にお手数ではございますが、掲載紙誌を下記事務局までご郵送いただくか、掲載部分のコピーをファックス送付（FAX:03-3503-7620）いただければ幸いです。

<お問い合わせ先>

テロ対策特殊装備展事務局

プレス担当：妹尾・小倉

TEL: 03-3503-7641 FAX: 03-3503-7620

[www.seecat.biz](http://www.seecat.biz)

E-Mail: [ofc@seecat.biz](mailto:ofc@seecat.biz)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-2-1 霞が関コモンゲート西館 32階 アテックス(株)内

## 開 催 概 要

1. 名 称 テロ対策特殊装備展(SEECAT)'10  
Special Equipment Exhibition & Conference for Anti-Terrorism'10
2. 会 期 2010年10月6日(水)～8日(金) 3日間  
開場時間 10:00～17:00
3. 会 場 東京ビッグサイト 西2ホール
4. 主 催 株式会社 東京ビッグサイト [www.bigsight.jp](http://www.bigsight.jp)
5. 特別顧問 佐々 淳行 氏 (元 内閣官房内閣安全保障室長)
6. 技術顧問 志方 俊之 氏 (帝京大学教授・東京都参与)
7. 特別協力 東京都
8. 後 援 内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)、警察庁、  
総務省消防庁、外務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、  
海上保安庁、防衛省、アメリカ大使館商務部、  
(独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター (順不同)
9. 運 営 アテックス株式会社 [www.a-tex.co.jp](http://www.a-tex.co.jp)
10. 展示規模 95社101小間 (共同出展含む、9月10日現在)
11. 併催行事 **■**アドバンスト・セミナー (聴講自由)  
**■**出展者プレゼンテーション (聴講自由)  
**■**後援機関主催セミナー (Webサイトによる事前申込制)
12. 来場者数 15,000名 (予定)
13. 入場条件 特別招待券の持参者、または公式 Web による事前申告者のみ  
※但し、Web 申告者は審査有・入場時に身分証の提示が必要です。  
※Web 申告の内容によって、入場をお断りする場合があります。  
※危機管理産業展他、同時開催展への入場も可能です。

# 展 示 会

## 1. 入場方法

### 入場之际し、来場者の審査・検査を実施

テロ対策機器が一堂に会するという展示会の特性から、SEECAT では来場の際に、本人確認や手荷物検査などを行う。

まず来場登録所にて、Web 申告を通過した際に発行される入場許可証の出力紙、顔写真付身分証（国・自治体職員は職員証、民間人は運転免許証、パスポート等）で、本人であることを確認する。

その後、金属探知機・X線検査装置による身体検査・手荷物検査を行う。X線検査では、後方散乱X線技術を用いた検査装置を今回初めて使用する。

また前回に引き続き、再入場希望者に対しカナダ製の3D顔認証機器（Vision Access）を用意し、本人確認の作業効率を図る。

### 入場方法【Web申告が必要です】

来場を希望される方は全て（VIP招待券持参者を除く）、公式Webサイトを通じて事前申告が必要です。申告内容を主催者が審査した後、許可を得た方のみ、入場可能となります。



## 2. 展示構成

テロ対策のあらゆる場面を想定した、最新鋭の資機材が展示される。

**検知器・探知機**…ボディスキャナー、爆発物検知器、X線検査装置、核種分析装置、爆発物探知犬、等

**特殊装備・機器**…化学防護服、防毒マスク、暗視スコープ、等

**警備機器**…水中警戒システム、港湾セキュリティーシステム、侵入監視センサー、警備訓練装置等

**カメラ**…赤外線カメラ、CCDカメラ、屋外用高速旋回一体型カメラ、等

### 3. 特徴と展示傾向

#### (1)検知器・探知機関連

空港での導入が検討中のボディスキャナーをはじめ、世界各国で使用される最新鋭の資機材が集結

- ・ 国土交通省により空港で実証実験が進められている、各種ボディスキャナーが集結。海外製品および国産のものも展示され、本展での比較検討が可能。国産製品は本邦初・ミリ波利用の不審物検出装置で、人体に影響せず、プライバシーに配慮したシステムとなっている。
- ・ 近赤外分光分析技術を用いた液体物検査装置は、ペットボトルを開封することなく検査が可能で、かつ従来技術では測定困難であった液体爆発物の判別も可能となっている。
- ・ 世界各国の軍・ファーストレスポnderで使用されている最新の N（核）、B（生物剤）、C（化学剤）対策資機材のほか、空港などの重要施設に納入実績のある爆発物・薬物検知器は、治安関係者必見の製品。
- ・ 核テロや原子力災害時における放射線・放射能測定装置はじめ、サーベイメータ、アラームメータ、ポータブル核種分析装置など、アドバンスト・セミナーと連動した製品も必見。
- ・ コンクリート壁などの遮蔽物を透過し、人体などの物体検出が可能なレーダ(国産)も出展される。従来製品に比べ高感度・小型・軽量などの特長を持つ。

#### (2)警備機器関連・カメラ関連

汎用型からハイ・スペックへの移行が著しい、充実のカメラ機器

- ・ 昼夜 360° のパノラマビューで全域を 1 回転/秒で監視できる全方向型赤外線監視カメラや、120 万画素の超高感度 HD カメラと近赤外対応レンズを組み合わせたカメラ、夜間でも 10 km 以上離れたターゲットをクリアに識別できるサーマルカメラシステムなど、新たな製品が登場。本年の SEECAT の売りとなりそう。
- ・ 監視カメラから監視センターまでの映像伝送に役立つ産業用イーサネット延長機器は、メタル線や光ファイバーを使って屋外などの映像伝送を実現。関係者必見の製品になりそうだ。
- ・ 洞爺湖サミットの警備でも使用された水中警戒ソナー他、水中警備に必要な機材（水中無線機・水中ナビゲーター等）など、水際の対策製品も充実。またセンサー、通信、コンピュータ、情報処理技術を統合した港湾セキュリティーシステムも初めて展示される。

#### (3)特殊装備・捜査機関連機器関連

化学防護服をはじめ、治安関係者向けの特殊機器などが集結

- ・ スウェーデン製の化学防護服、NBCR 除染資機材など、治安関係者には必須の機材が展示される。
- ・ 世界各国のインテリジェンス機関や特殊捜査機関が活用する犯罪者行動分析ソフトや、コンピュータフォレンジック機器は、国際手配犯追跡資機材として見逃せない展示内容となっている。
- ・ 空間情報技術をベースとしたテロ警備警戒対応支援システムも必見。

## 併催イベント

### 1. アドバンスト・セミナー

会場：西2ホール SEECAT ステージ 定員：150名（予定）

AD-1 開講日：10/6日(水) 13:00～14:10

#### 「差し迫ったAPEC首脳会議（横浜）～緊迫の1ヶ月 直前レビュー～」

10月・11月は、横浜での首脳会議に至るまで、食料安全保障会合（新潟、10月16日～17日）→電気通信・情報産業大臣会合（名護、10月30日～31日）→財務大臣会合（京都、11月6日）、閣僚級会議（横浜、11月10日～11日）、首脳会議（横浜、11月13日～14日）と緊迫の1ヶ月を迎える。これに先立ち、APEC警備について、関係者を迎えた直前レビューを行う。

【ゲスト】



さいとう みのる  
齊藤 実 氏  
警察庁  
警備局 警備課長

【ホスト】



いたばし いさお  
板橋 功 氏  
(財)公共政策調査会  
第1研究室長

AD-2 開講日：10/7日(木) 11:00～12:30

#### 「航空保安の課題」

航空保安については、ICAO等の国際機関においてもその強化の方向性が打ち出されており、またわが国においてもボディスキャナー導入に向けての実証実験が行われるなど、強化に向けての議論が活発化している。これらを踏まえ、航空分野におけるテロ対策の課題について探る。

【

ゲスト

】

【ホスト】



わたなべ りょう  
渡邊 良 氏  
国土交通省航空局監理部  
航空安全推進課 課長



ふじい としあき  
藤井 俊明 氏  
全日本空輸(株)  
オペレーション統括本部  
オペレーションマネジメントセンター  
航空保安部 部長

いたばし いさお  
板橋 功 氏  
(財)公共政策調査会  
第1研究室長

AD-3 開講日：10/7日(木) 15:30~17:00

### 「爆弾テロの脅威～国民保護訓練を踏まえて～」

爆弾テロ発生時の救援活動のあり方等について、10月2日(土)に熊本県において行われる国民保護共同実動訓練の成果を踏まえ、国民保護の観点から討議を行う。



さいとう たいぞう  
**齋藤 大蔵 氏**  
防衛医科大学校  
防衛医学研究センター教授



とくの しんいち  
**徳野 慎一 氏**  
防衛医科大学校  
防衛医学講座准教授



ふせ あきら  
**布施 明 氏**  
日本医科大学付属病院  
高度救命救急センター講師



あらい ひとし  
**荒井 仁志 氏**  
内閣官房  
内閣参事官



おくむら とおる  
**奥村 徹 氏**  
内閣官房  
NBC災害対策専門官

AD-4 開講日：10/8日(金) 11:00~12:30

### 「原子力・放射性物質のセキュリティの課題」

今年4月にオバマ大統領の提唱で、ワシントンDCにおいて核セキュリティサミットが開催され、またIAEAにおいても核セキュリティ強化の方向性が打ち出されている。本セッションでは、原子力分野(原子力施設、核物資、放射性物質などを含む)におけるテロ対策の課題について協議する。

【 ゲスト 】

【ホスト】



よしの じゅん  
**吉野 潤 氏**  
内閣府 原子力政策担当室  
政策統括官  
(科学技術政策・イノベーション担当) 付  
参事官付企画官



わたなべ ふみたか  
**渡辺 文隆 氏**  
(独)日本原子力研究開発機構  
原子力緊急時支援・研修センター  
調査研究グループ 技術主幹

いたばし いさお  
**板橋 功 氏**  
(財)公共政策調査会  
第1研究室長

| <b>2. 出展者プレゼンテーション</b> 会場：西2ホール SEECAT ステージ 定員：150名(予定)                    |                  |
|--|------------------|
| <b>10月6日(水)</b>  |                  |
| <b>15:00～15:20</b>   |                  |
| 「地理空間情報と相関ネットワーク分析による、新たな分析」<br>人、組織などの関連情報と地理空間情報の連携による新たな気づきの提案<br>(株)コア | Tel.03-3795-5153 |
| <b>15:40～16:00</b>   |                  |
| 「バイオテロ発生時における緊急警告の必要性」<br>(株)アトックス   | Tel.03-5540-7953 |
| <b>10月7日(木)</b>  |                  |
| <b>13:00～13:20</b>   |                  |
| 英国企業によるプレゼンテーション (詳細調整中)<br>英国大使館  | Tel.03-5211-1160 |
| <b>15:00～15:20</b>   |                  |
| 「インテリジェンス(情報)活用のための基盤技術と機能」<br>断片データの有効活用と効果的なインテリジェンスサイクルのご提案<br>(株)コア    | Tel.03-3795-5153 |
| <b>10月8日(金)</b>  |                  |
| <b>15:00～15:20</b>   |                  |
| 「地理空間情報と相関ネットワーク分析による、新たな分析」<br>人、組織などの関連情報と地理空間情報の連携による新たな気づきの提案<br>(株)コア | Tel.03-3795-5153 |
| <b>15:40～16:40</b>   |                  |
| 「バイオテロの脅威との対峙(その問題と解決策)」<br>(株)アトックス                                       | Tel.03-5540-7953 |

(プレゼンテーションの詳細内容は、各出展者にお問い合わせください。)

### 3. 併催イベント

#### 安全・安心科学技術の社会実装に向けた研究開発

10月6日(水) 11:00~12:00、16:10~16:55

会場: 西2ホール SEECAT ステージ

定員: 150名(予定)

11:00~11:15

「準単色ガンマ線を用いて非破壊で核物質を検知するシステム」

大垣 英明 氏(京都大学 エネルギー理工学研究所 教授)

11:15~11:30

「顔と人体のビデオ画像処理技術を用いた次世代監視技術」

勞 世竝 氏(オムロン(株) 技術本部コアテクノロジーセンタ 技術専門職)

11:30~11:45

「生物剤検知用バイオセンサーシステムの開発」

民谷 栄一 氏(大阪大学大学院 工学研究科 教授)

11:45~12:00

「生物剤検知用DNAチップシステム」

源間 信弘 氏((株)東芝 研究開発センター 首席技監)

-----  
16:10~16:25

「自動サンプリング式トレース検出装置を用いた爆発物探知システム」

坂入 実 氏((株)日立製作所 中央研究所 主管研究長)

16:25~16:40

「ミリ波パッシブイメージング装置の開発」

澤谷 邦男 氏(東北大学大学院 工学研究科 教授)

16:40~16:55

「ペットボトルなど、ボトルの外から簡便に内容物検査を可能とする装置」

糸崎 秀雄 氏(大阪大学 大学院 基礎工学研究科 教授)

## 安全・安心社会構築のための研究開発連携国際セミナー

「テロ対策技術の最新動向と国際連携」

主催：内閣府 共催：文部科学省 国土交通省

協力：米国大使館、英国大使館、仏国大使館、蘭国大使館

10月8日(金) 13:00～16:40

会場：会議棟 6F 607+608 会議室

定員：250名(予定・聴講は事前申込制)

9.11 同時多発テロ以降、近年になっても、ロシア列車爆破テロや米国便旅客機テロ未遂事件等重大事件が世界各国で発生しています。国民の安全・安心を確保し、健全な経済、社会活動を維持していくためには、国際社会による連携した取り組みの中で、危険物の事前探知やテロ行為の事前対処などテロ対策に資する科学技術の開発や利用動向の把握と技術交流などを強化する必要があります。こうした科学技術の国際動向を関係者が広く情報共有し、今後の連携を深めるために、この分野における世界の最前線の専門家を招聘した国際セミナーを開催いたします。

お問い合わせ：内閣府政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）付  
（総合科学技術会議事務局）

電話：03-5253-2111（内線 44584,44624）

<http://terotaisaku2010.info/>

（最新の情報は公式 Web サイトをご覧ください。）

# 出 展 者 一 覧

(95 社、50 音順、共同出展含む、10 月 1 日現在)

| あ                    |       |                           |       |
|----------------------|-------|---------------------------|-------|
| (株)アイ・アール・システム       | 3C-01 | タヤ インターナショナル(株)           | 3D-13 |
| (株)アイアンドシー           | 3C-26 | 中央電子(株)                   | 3B-22 |
| (株)旭製作所              | 3A-17 | 帝国繊維(株)                   | 3B-20 |
| (株)アトックス             | 3D-06 | 東京大学 生産技術研究所              | 3A-17 |
| アロカ(株)               | 3C-18 | (株)東芝 研究開発センター            | 3A-17 |
| イービストレード(株)          | 3A-14 | 東都警備保障(株)                 | 3B-14 |
| 池上通信機(株)             | 3C-08 | 東北大学大学院 工学研究科             |       |
| (株)インフォマティクス         | 3B-01 | 電気・通信学専攻                  |       |
| (有)ウエスタン・リンク         | 3D-04 | 波動工学講座 電磁波工学分野            |       |
| エア・ウォーター防災(株)        | 3A-17 | 澤谷研究室                     | 3A-17 |
| 英国大使館                | 3D-20 | (株)東陽テクニカ                 | 3A-16 |
| (株)エス・ティ・ジャパン        | 3B-04 | (株)トキナー                   | 3B-03 |
| (株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 | 3A-17 | な                         |       |
| エム・エー・ジェー(株)         | 3A-04 | 内閣官房                      | 3C-06 |
| 大阪大学 産業科学研究所         |       | 名古屋大学大学院 情報科学研究科          | 3A-17 |
| 知能システム科学研究部門         |       | 仁木工芸(株)                   | 3C-15 |
| 複合知能メディア研究分野 八木研究室   | 3A-17 | 日本エンジニアリング貿易(株)           | 3C-14 |
| 大阪大学大学院基礎工学研究科 糸崎研究室 | 3A-17 | 日本海洋(株)                   | 3B-10 |
| 大阪大学大学院工学研究科精密科学・    |       | 日本電気(株)                   | 3A-10 |
| 応用物理学専攻 民谷研究室        | 3A-17 | 日本実務出版(株)                 | 3D-09 |
| (株)オービーティ            | 3C-13 | 日本ダイスターエレクトロニック株式会社       | 3D-02 |
| 奥田商事(株)              | 3B-18 | (株)ノビタス                   | 3C-02 |
| オムロン株式会社             | 3A-17 | は                         |       |
| か                    |       | ハイテックインター(株)              | 3D-22 |
| 科学警察研究所 法科学第三部       | 3A-17 | (株)パスコ                    | 3C-10 |
| 科学警察研究所              |       | 原田産業(株)                   | 3C-27 |
| 法科学第三部化学第一研究室        | 3A-17 | バリアリーフ・インターナショナル(株)       | 3D-02 |
| 学校法人加計学園 岡山理科大学      |       | (株)パル技研                   | 3B-12 |
| 工学部バイオ応用化学科          | 3A-17 | (株)日立製作所 中央研究所            | 3A-17 |
| ガデリウス(株)             | 3C-22 | 富士電機システムズ(株)              | 3C-19 |
| (株)キャンベラジャパン         | 3D-06 | ブルカードルトニクス                |       |
| 京都大学 エネルギー理工学研究所     |       | HOYA(株) PENTAX            |       |
| エネルギー生成研究部門          |       | イメージングシステム事業部             | 3B-17 |
| 量子放射エネルギー研究分野        | 3A-17 | ポニー工業(株)                  | 3B-15 |
| 京都大学 学術情報メディアセンター    | 3A-17 | ま                         |       |
| (株)クボタ               | 3B-24 | (株)マイクロコム                 | 3C-12 |
| (株)コア                | 3D-25 | マスプロ電工株式会社                |       |
| コーンズドッドウェル(株)        | 3A-01 | 三井物産エアロスペース(株)            | 3B-08 |
| 国土交通省                | 3A-09 | 三菱重工(株) 長崎造船所             | 3B-06 |
| コンボルト・ジャパン(株)        | 3D-16 | 三菱電機特機システム(株)             | 3A-11 |
| き                    |       | (株)ミュートロン                 | 3C-07 |
| サクラテック(株)            | 3D-14 | 文部科学省                     | 3A-17 |
| (独)産業技術総合研究所         |       | や                         |       |
| 健康工学研究センター           | 3A-17 | (株)UBIC                   | 3D-10 |
| (株)重松製作所             | 3A-17 | ら                         |       |
| 公立大学法人 首都大学東京        |       | (株)リアルビズ                  | 3D-23 |
| 理学研究科物理専攻            | 3A-17 | (独)理化学研究所 仁科加速器研究センター     | 3A-17 |
| スキヤナ・ジャパン(株)         | 3C-24 | (独)理化学研究所 和光研究所/基幹研究所     | 3A-17 |
| 住商エアロシステム(株)         | 3D-08 | 理研計器株式会社                  | 3A-17 |
| セイコー・イージーアンドジー(株)    | 3C-16 | (株)ロックシステム                | 3D-02 |
| (株)セキュリティ            | 3A-07 | 海外                        |       |
| (株)セキュリティゲート・ジャパン    | 3D-02 | CELLEBRITE MOBILE         |       |
| (株)セキュリティ産業新聞社       | 3C-17 | SYNCHRONIZATION LTD.      | 3C-20 |
| 双日エアロスペース(株)         | 3C-28 | COMMESH LTD.              | 3D-19 |
| ソニービジネスソリューション(株)    | 3C-04 | COVIDENCE A/S             | 3D-21 |
| た                    |       | NUCSAFE LLC               | 3C-15 |
| ダイキン工業(株)            | 3A-17 | PYSER-SGI (ASIA) PTE LTD. | 3D-15 |
| 谷澤商事(有)              | 3C-25 | SMITHS HEIMANN GMBH       | 3B-04 |
| 多摩川精機(株)             | 3B-13 | VERINT SYSTEMS LTD.       | 3D-27 |

## 公式 Web サイトのご案内

[www.seecat.biz](http://www.seecat.biz)

テロ対策特殊装備展の公式 Web サイトでは、以下の内容を中心に、本展示会の最新情報を順次リリースしています。

- ・ 来場希望申告の受付
- ・ 出展者リストと各社ホームページへのリンク
- ・ 出展者詳細情報（出展内容）
- ・ 各種セミナー情報

## 取材に際してのお願い

本展の取材につきましては、事前にご登録をお願いしております。

### ■ プレス登録のご案内

プレス登録をいただきますと、今後展示会の最新情報を記載したニュースリリースを毎回お手元にお届けします。また、ご来場当日は、スムーズな入場手続きが可能です。

※会期中はプレスルームをご用意します。

### ● ご登録方法

1. 本展の公式 Web サイト ([www.seecat.jp](http://www.seecat.jp)) の「プレス登録」をクリック。
2. 以下、所定の登録欄に沿ってご入力ください。
3. 登録完了後、プレス登録完了のメールをお送りいたします。
4. 「プレス証」を郵送にてお届けします。
5. 当日は、郵送いたしました「プレス証」にご本人の顔写真を貼付のうえ、お名刺とあわせて、会場のプレス受付までお持ちください。プレス専用のホルダーをお渡しいたします。なお、お名刺は取材ご来場の方全員にご提出いただきますので、あらかじめご了承ください。
6. 会場での登録はお時間がかかる場合がありますので、なるべく事前にご登録いただきますようお願いいたします。

ご注意：テロ対策特殊装備展における「プレス」とは各種媒体（新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Web）に掲載するための取材をされる方を対象とします。  
営業目的の方のプレス登録はお断りしております。あらかじめご了承ください。  
また、会場内での取材に際しては、本展の取材規定を順守いただきますようお願いいたします。

## SEECATに関する取材規定

本展示会会期中の取材につきましては、以下の項目を遵守していただきますようお願い申し上げます。万が一本規定に反した場合は、貴社に対して対応を申し入れる場合があることをご了承ください。

1. 特定の取材対象となる講演者・出展者・来場者等の本展参加者へは、事前に取材する旨の承諾を直接本人から得るものとする。
2. 写真、収録撮影時におけるストロボおよびライトには十分に配慮し、一般参加者や聴講の妨げになるようなことは避ける。
3. 対象者以外の撮影は避けるようにし、万一写った場合には、個人が特定できないよう配慮する。
4. 対談・講演内容の公表は、原則主催者に限るものとする。
5. 報道以外の記事掲載等の取材内容については、事前に主催者が記事の内容をチェックするものとする。決して講師および対談・講演内容への誹謗中傷となるような記事は掲載しないものとする。
6. 上記事項に無く判断を要する場合、速やかに主催者に相談し、許可を得るものとする。